

乳がん・子宮がん検診 を受けましょう！

日本では毎年約10,000人の女性が新たに子宮頸がんと診断されています。年間約3,000人の女性が子宮頸がんで命を落としています。また、一生のうちにおよそ76人に1人が子宮頸がんと診断されていますが、そのうち約38%が20～30歳台であり、若者にも発症するがんであるという特徴があります。さらに、乳がんによって命を落とす方は毎年約15,000人おり、一生のうちにおよそ9人に1人が乳がんと診断されています。どちらのがんも若い頃から定期的に健診を受け、早期発見・早期治療をすることが重要になります。

検診のお知らせ

乳がん検診は40歳以上の女性、子宮がん検診は20歳以上の女性を対象に町の集団検診を実施しています。希望される方はぜひお申し込みください。

●日時・会場

令和7年1月23日(木)…健康福祉センターさわやか

24日(金)…洞爺ふれ愛センター
※詳しい受付時間は、回覧、洞爺湖町HP、洞爺湖町LINEをご覧ください。

●申込み

健康福祉センターさわやか
電話 76-4006 FAX76-1877
メール
ken_center@town.toyako.lg.jp

※2年に1度の検診であるため、令和5年4月1日～令和6年3月31日の間に乳がん検診・子宮がん検診を受けた方は、令和7年度にお受けください。

●乳がん検診(40歳以上の女性)

1. マンモグラフィ(40歳以上)
乳房専門のX線検査で、40歳以上49歳以下の方は上下と斜めの2方向から撮影し、50歳以上の方は斜めの1方向のみ撮影します。乳腺1本1本の重なりを少なくして病変を見つけやすくするため、乳房を薄く引き伸ばすため痛みを強く感じる方がいますが、実際の圧迫時間は数十秒です。

2. 超音波検査(40歳～49歳まで)

40歳代は乳腺が発達しているため、マンモグラフィと一緒に超音波検査を受けることでより正確に検査できます。また、マンモグラフィでは映らないタイプの乳がんを検出することがあります。

●子宮がん検診(20歳以上の女性)

1. 子宮頸がん検査(20歳以上)
子宮の入り口(子宮頸)にできるがんの検査です。柔らかいブラ

どんな検診をするの？

シで子宮頸部の表面をこすり取って調べます。検査自体は1～2分程度で終わります。

2. 超音波検査(20歳以上)

超音波を当てて、跳ね返ってくるエコーを画像化して、子宮内膜や卵巣の状態を確認できます。子宮頸がん検査と一緒に超音波検査を受けることで、より病気を発見しやすくなります。

乳がん検診・子宮がん検診ともに、検診車の中で検査を行い、女性スタッフが対応するため、プライバシーの心配はありません。

※これまで乳がん検診や子宮がん検診の受診歴がない方に、R6年7月ごろ無料クーポン券を送付しています。クーポン券が使用できるのは今年度中だけなので、ぜひこの機会にクーポン券を使って検診を受けましょう！

問合せ 健康福祉課 (☎ 76-4006)